



message

令和6年度が始まりました!

元日の夕方に発災した能登半島地震では、いまだ多くの方が避難生活を強いられています。被災された全ての皆様にお見舞いを申し上げるとともに、一日も早く日常生活が戻ることを願います。また、今回の震災で、改めて多くの方が防災について考えたことと思いますが、平時の取組みがいかに重要であるか改めて感じました。年明け早々の震災や航空機事故など暗い話題が続いていますが、海外では今シーズンからロサンゼルス・ドジャースに移籍し、また、ご結婚された「大谷翔平」選手から、全国の小学校に寄贈されたグローブが子どもたちの笑顔の輪を広げてくれた明るい話題もあります。今年度も引き続き、県民生活の向上に向けて取り組んでまいります。

◀多くの子どもたちに笑顔を与えていただきました!

TOPICS

1

大村知事に 再度政策要望を 行いました!

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行したことに伴い、本格的に社会経済活動が戻りつつある中、これまで表面化していなかった問題が顕在化してきたことから、今回、昨年10月の提言書の内容に加えて、早期に対応を講じる必要があること再度、要望を行いました。

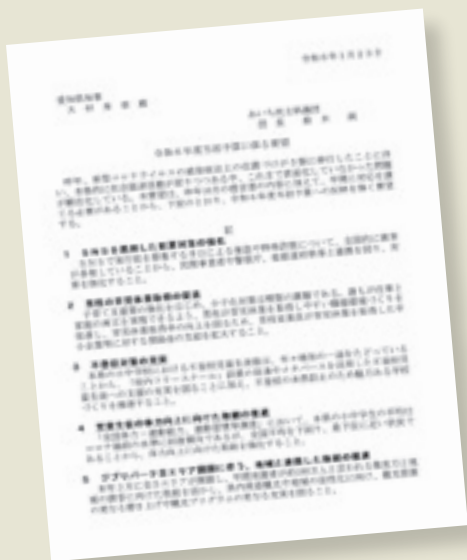


要望内容

- ① SNSを悪用した犯罪対策の強化
- ② 男性の育児休業取得の促進
- ③ 不登校対策の充実
- ④ 児童生徒の体力向上に向けた取組みの推進
- ⑤ ジブリパーク全エリア開園に伴う、地域と連携した取組の推進

桜井の一言!

今回の要望は、他党（自民党・公明党）と同時期に行うことで政策の実効性が高まることを期待します。



空高く舞い上がる龍のごとく、勢い盛んに愛知を成長させる「龍躍愛知」をめざす議会を開会！



代表質問

2月定例議会が2月19日(月)～3月25日(月)までの会期で開催され、自由民主党・あいち民主の2会派が代表質問を行い、あいち民主県議団からは、団長である鈴木純議員(稲沢市選出:5期)が登壇し、県政諸課題について県の考えを質しました。



▲代表質問する鈴木純議員

質問1 今後の財政運営について

Q 我が国の成長エンジンとして日本を牽引する本県の持続可能な財政運営に向けて、今後どのように取組んでいくのか伺う。

大村知事 答弁 年度によって県税収入が大きく変動するという本県の財政運営上の特徴や、大規模な災害など、年度途中の不測の財政需要に機動的に対応できるようにするためにも、基金残高の確保は重要であると認識。**2024年度は、再び多額の基金取崩しを計上せざるを得ない厳しい状況にあるものの、当初予算編成後の財政調整基金の残高は1,234億円を確保できる見込みである。**さらに、あいち行革プラン2020後半期の取組に基づき、歳入歳出両面にわたる行財政改革に全力で取組み、税収の確保につなげ、健全で持続可能な財政基盤の確立につなげる。



質問2 地域経済の活性化について

Q 経済の好循環を促すため、労務費を含め、中小企業が適正な取引・価格転嫁をさらに進められるよう、どのように取組んでいかれるのか伺う。

大村知事 答弁 県が実施している直近の中小企業景況調査によれば、価格転嫁率が5割未満の事業者の割合は50.4%で、共同宣言前の2022年10月～12月期に比べて16.6ポイント改善しているものの、**依然として約半数の企業が5割未満しか価格転嫁ができていない状況。**そこで共同宣言機関・団体と共に、適正な取引・価格転嫁に向けた気運をさらに醸成するため、「取引適正化・価格転嫁推進フォーラム」を開催し、公正取引委員会から「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」の説明や、取引先との共存共栄に取り組んでいる企業からの有益な事例発表等があった。**今後も共同宣言機関・団体と連携しながら、ものづくり愛知を支えるサプライチェーン全体の共存共栄、中小・小規模事業者の稼ぐ力の向上、地域経済の更なる活性化につながる取組みを進めていく。**

◀答弁する大村知事

質問3 今後の防災対策について

Q 能登半島地震を踏まえ、愛知県地震防災推進条例をどのように改正するのか伺う。

大村知事 答弁 県では、県及び市町村や、県民・事業者等の責務を明確にし、互いに助け合い、協働して地震災害に対処するため、愛知県地震防災推進条例を2004年に施行した。また、**能登半島地震では、避難の呼びかけや様々な事情を持つ方々が過ごす避難所の運営等において、住民同士の共助の取組みが重要であると、改めて感じた。**条例の改正では、県民の皆様には、過去の災害からの教訓や防災知識を学び、自ら命を守る行動をとることや、日本の成長エンジンである本県が、発災後、迅速に活力を取り戻せるよう、事業者の皆様には、事業継続計画を策定することを条例に位置付け、強く求めていくことなどを検討している。**今後も、県民・事業者の皆様と一丸となって連携し、災害からの被害を軽減する防災協働社会の形成を加速化させ、地域防災力の一層の向上を図り、「安全・安心なあいち」の実現を目指していく。**



主な議案

令和6年2月定例議会(2月19日～3月25日)では、一般会計2兆7,949億余円を含む4兆3,427億余円の令和6年度当初予算をはじめ、92議案が上程され、慎重な審議の結果、全ての議案を可決しました。

令和6年度 県予算のポイント

県税収入は、好調な企業業績を反映した法人二税の増収を見込むが、人件費や扶助費などの歳出増加に伴う収支不足が見込まれ、単年度の歳入だけで歳出を賄うことが出来ず、多額の基金取崩しに依存する厳しい財政状況が継続している。

歳入 令和6年度の県税収入は、前年度から440億円増の1兆2,907億円。法人二税では、好調な企業業績を反映し399億円の増を見込むものの、**海外景気の下振れ、物価上昇、中東地域をめぐる情勢などに留意する必要がある。**

歳出 人件費は、給与改定や定年年齢引上げの影響による退職手当の増加などにより大幅に増加。また、医療・介護・子育てなどの扶助費は、2025年にかけて団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となることに加え、子ども・子育て支援の強化などに伴い、大幅に増加している。

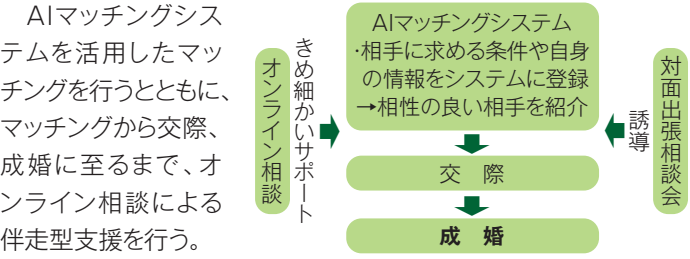
令和6年度の主な県事業

愛知万博20周年記念事業を実施

2025年に愛知万博開催20周年を迎えるにあたり、愛知万博の理念と成果の再認識・継承を図るとともに、愛知県の魅力を国内外に向けて発信していきます。
○会期／2025年3月25日～9月25日
○場所／愛・地球博記念公園
○開催イメージ
・地球市民交流センターや園路等で、万博の理念や成果を伝える展示・装飾等を行う常設展示イベントを展開
・土日祝日や夏休み期間等に、毎月2週末程度、テーマを決めた実行委員会主催の目玉イベントを開催



オンライン型結婚支援センターの開設



物流脱炭素化プロジェクト

弁当の配送や、容器・調理くずをリサイクルする際の物流において、燃料電池トラック(FCTトラック)を活用して脱炭素化を図る取組みを支援し、物流脱炭素化のモデルを構築するとともに、このモデルを横展開し、荷主と運輸事業者等が連携した物流脱炭素化を推進します。

〈支援内容〉

- ・荷主、運輸事業者等が参画する「あいち物流脱炭素化推進協議会(仮称)」の設置
- ・幅広く横展開するためのモデルスキームの構築
- ・県内の荷主、運輸事業者等のFCTトラックの導入需要の掘り起こし、とりまとめ等

困難な問題を抱える女性への支援を推進

DV・ストーカー被害、性犯罪・性暴力被害、予期せぬ妊娠、不安定な就労状況、経済的困窮など、様々な困難な問題を抱える女性への支援を推進します。

1.相談支援体制の整備

- ・女性相談員向け研修
- ・相談窓口の啓発

2.関係機関との連携・協働による支援の推進

- ・民間支援団体への助成
- ・支援調整会議の開催



ジブリパーク「魔女の谷」がオープンしました！

2017年5月にスタジオジブリとジブリパーク整備構想を合意し、3月16日に魔女の谷のオープンを迎え、ついに全5エリアが開園となりました。開園に先立ち、開催された内覧会に行ってきましたので、魔女の谷を中心に一部をご紹介します。



魔女の家

『アーヤと魔女』の主人公アーヤが引き取られた家です。魔女ベラ・ヤーガの作業部屋やアーヤの寝室などがあります。



ハウルの城

『ハウルの動く城』に登場した、生き物のような形をした存在感のある城(高さ約20m)です。



フライングマシン

『天空の城ラピュタ』の世界をモチーフにしています。フライングマシンの中心には、ラピュタとタイガーモス号があります。



メリーゴーランド

『魔女の宅急便』や『ハウルの動く城』、『もののけ姫』といった作品に登場する乗り物や動物・キャラクターをモチーフに装飾しています。



APMネコバス

多くの来園者で賑わう広大な都市公園内の移動をより楽しく、快適にするソリューションを提供します。※1



魔女の谷のみえる展望台

空に向かって舞い上がるような写真が撮れる撮影スポットとして「夏の翼」を設置。※1

『魔女の宅急便』や『ハウルの動く城』、『アーヤと魔女』といった、魔女が登場するスタジオジブリ作品をイメージしたエリア。ヨーロッパ風の街並みのなかに、「グーチョキパン屋」や「ハウルの城」、「魔女の家」といった作品に登場する建物をはじめ、スタジオジブリ作品がモチーフの「メリーゴーランド」や「フライングマシン」があり、街や建物の至るところに魔法の仕掛けや空を飛ぶことへの憧れがつまっています。

チケットは3種類 日にち指定の予約制となります。

チケットの種類・料金も新たに変更！

「ジブリパーク大さんぼ券」→全5エリアをまわることができるチケット
「ジブリパーク大さんぼプレミアム」→全5エリアと全ての建物の中を観覧することができるチケット
「ジブリパーク大さんぼ券」→屋外4つのエリアをまわるすることができるチケット
※1「APMネコバス」「魔女の谷のみえる展望台」はジブリパークチケットがなくても利用できます。

© Studio Ghibli

日々の活動



1/4 豊田市 新年あいさつ会

元日に発災した能登半島地震についてお悔みを申し上げ、県の対応をお話しさせていただきました。



2/1 豊田市長選挙

厳しい選挙となりましたが、現職の実績・堅実なところを評価・応援し、当選させていただきました。



2/11 第37回 裸まつり天下祭

松平東照宮にて4年ぶりとなる制限なしでの開催、また「どうする家康」効果もあり大盛況でした。



2/27 献血に協力

自分の血液が役立つと思うと嬉しく思います。皆さんも可能な限り協力をしましょう！



3/12 アジアパラ競技大会 フラッグツアーin豊田市

2026年の大会の開催をPRL機運醸成を図るために県内すべての市町村を回ります。



3/24 自治区総会に出席

年度末にあたり自治区や高齢者クラブの総会に出席し県政報告をさせていただきました。

ホームページを是非ご覧ください ▶ <https://sakurai-hideki.com/>

発行：桜井ひでき事務所

〒471-0832 豊田市丸山町10-5-1
TEL 0565-71-1555 FAX 0565-29-0274

